

1. 千葉県立長生の森公園の概要

本公園は、茂原市街から北西に約2.5Kmの丘陵地に位置しており、「人間・スポーツ・環境」をテーマに、自然の地形や豊かな緑を保全しながら、スポーツ、レクリエーション、散策等のできる広域公園であり、平成5年から整備を進めています。

現在、公園全体面積48.2haのうち、計画中央部の市道より南側エリア約10.2ha及び北側エリア2.2haの合計12.4haが共用されており、野球場、テニスコート、ゲートボール場、多目的広場が利用されています。

公園周辺は、千葉県特有の谷津環境が残されている貴重な環境であり、森林及び水田が広がる田園地帯となっているほか、サシバやオオタカなどの貴重な野鳥も生息している自然豊かな地域となっています。

また、当公園は、千葉県地域防災計画における広域防災拠点や、茂原市地域防災計画における広域避難場所に指定されています。

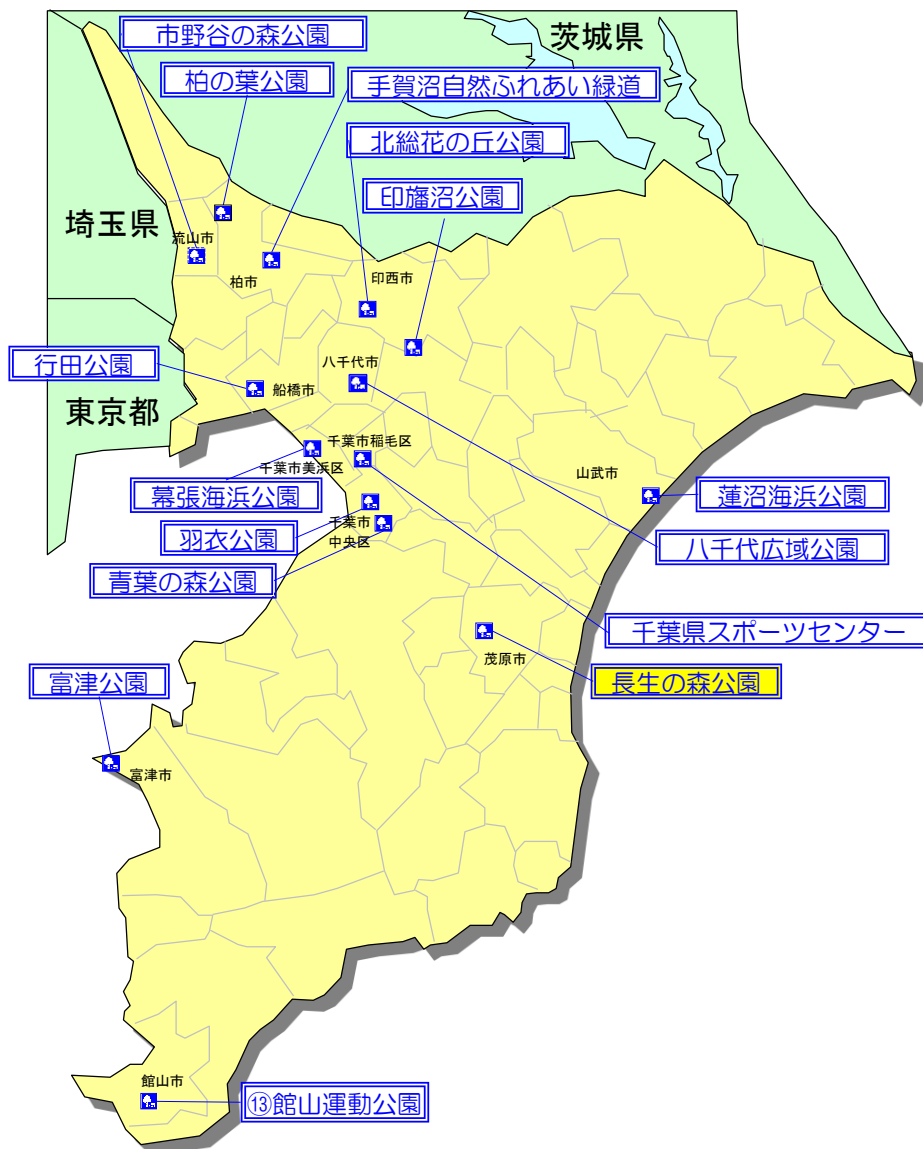


図1 長生の森公園の位置図

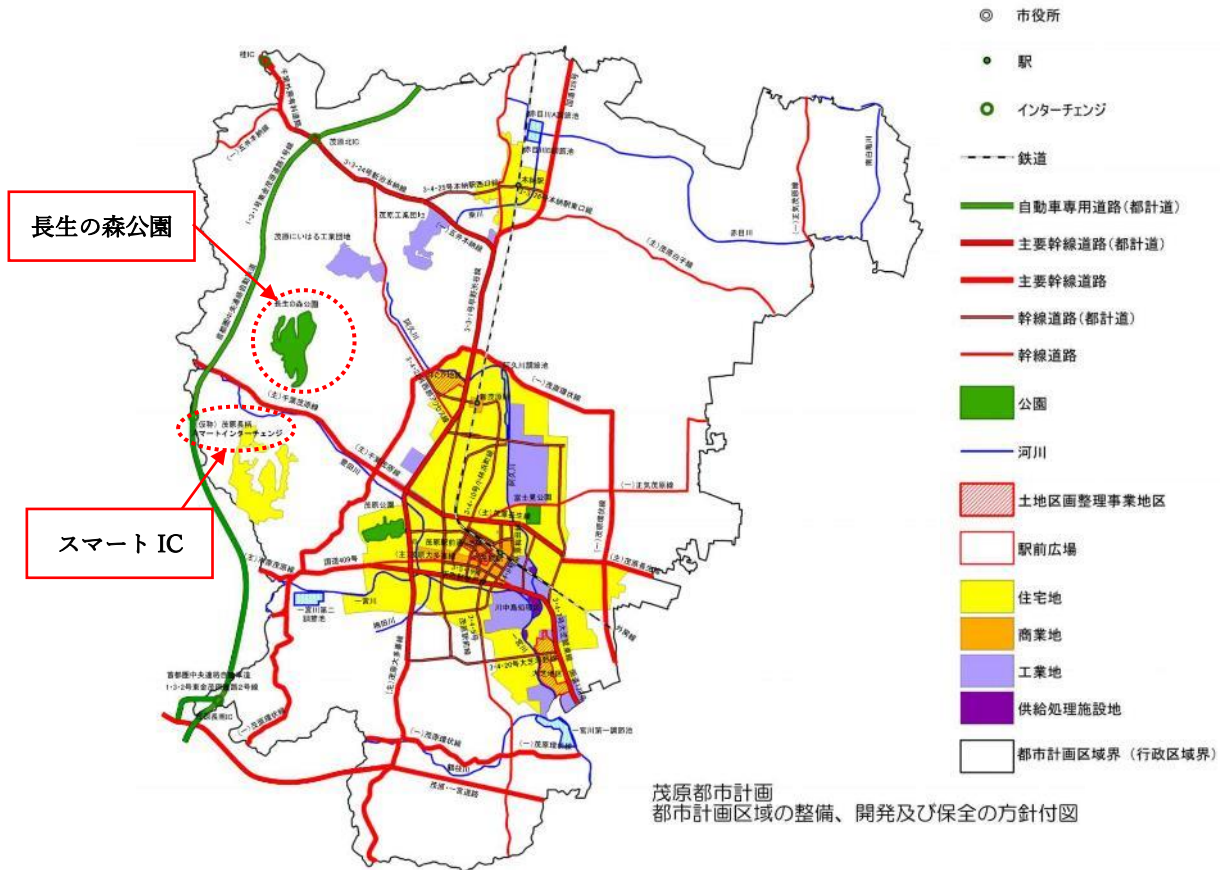


図2 茂原市都市計画区域マスタープラン(方針図)

表1 長生の森公園の概要

公園概要	
名称	長生の森公園
開園日	平成14年7月(当初) 平成16年8月(最新)
公園面積	48.2ha
所在地	茂原市庄吉・真名地先
都市計画 公園種別 計画決定	広域公園 平成5年3月19日 用途制限なし(非線引区域)



写真1 公園周辺の航空写真

2. 公園施設の整備・管理状況

長生の森公園は、大きく2つのゾーン（スポーツゾーン、自然環境ゾーン）に分かれており、それぞれのテーマに沿って各施設が整備されています（図6）。

公園南側は、野球場、テニスコート、ゲートボール場が整備されています。特に、野球場は高校野球の公式戦の指定球場となっており、大会開催時には非常に多くの人押し寄せます（令和元年度実績：約39万人）。

公園北側は、自然環境ゾーンとなっており、豊かな自然環境を活かした多様なレクリエーション活動に対応した多目的広場ゾーンや、千葉県に特有な里山の地形を保全し様々な生活体験ができる体験広場ゾーンなどで構成されており、現在一部整備中です。

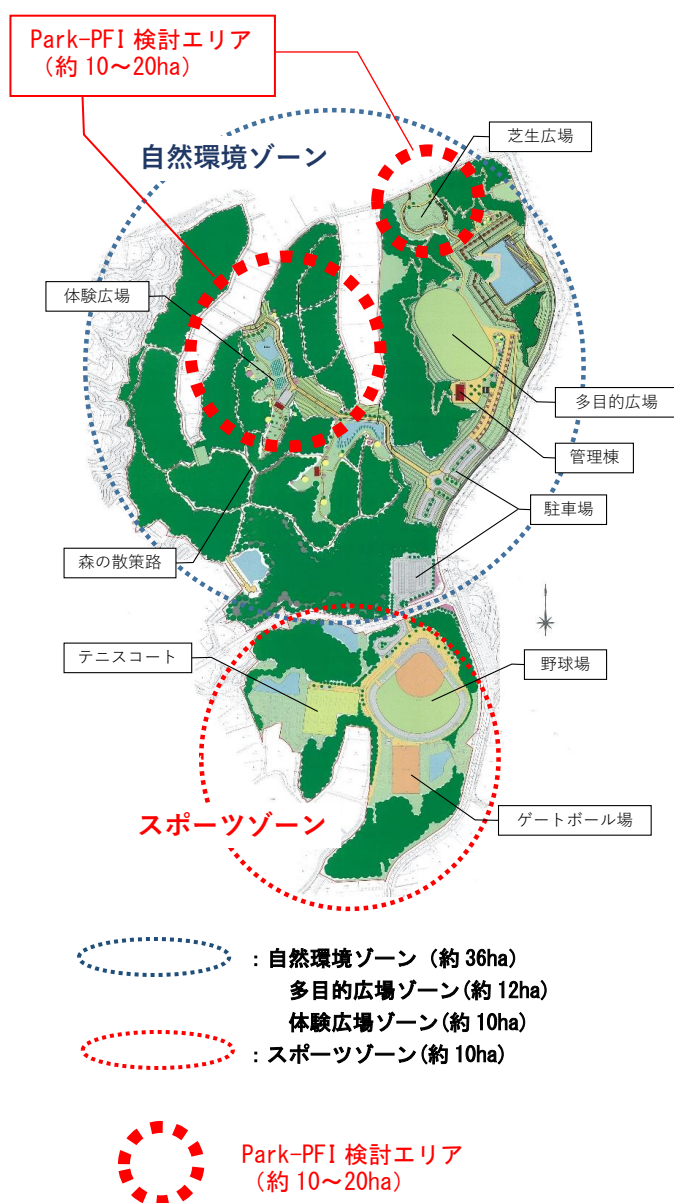


図3 長生の森公園全体図

表2 各施設の供用開始年月

経緯	
H5.3.19	都市計画決定
H5.12.27	事業認可(～H15.3.31)
H14.7.1	部分供用開始(約3.8ha) 野球場
H15.1.27	事業認可変更(～H25.3.31)
H15.4.1	部分供用開始(約2.4ha) 庭球場
H16.4.1	部分供用開始(約3.3ha) ゲートボール場
H16.8.1	部分供用開始(約0.7ha) 駐車場
H17.1～H19.9	基本計画の見直し
H20.3.6	事業認可変更(～H30.3.31)
H30.2.21	事業認可変更(～H35.3.31)
H31.4.1	部分供用開始(約2.2ha) 多目的広場等

表3 各施設の概要

施設名称	施設概要	整備
野球場	センター：122m、両翼98m 収容人数：9,000人 (内野：3,100席、外野：5,900席) 磁気反転式スコアボード	供用開始
庭球場	砂入り人工芝コート8面	供用開始
ゲートボール場	ゲートボール場6面	供用開始
多目的広場	約14,000㎡ 臨時駐車場 約600台	供用開始
芝生広場	面積：約6,000㎡ (他2ヶ所)	整備中
管理棟	事務室、休憩所、トイレ、倉庫	整備中
体験広場	面積：約3,000㎡ 休憩所 ボランティアルーム、トイレ、倉庫	整備中
森の散策路	幅員：2m 延長：3,300m	整備中

主要施設の概要

<野球場>



施設名	施設概要
グラウンド	本塁～両翼 98m
	本塁～中堅 122m
	※外野 天然芝
観客席	内野メインスタンド3,100席 外野スタンド 5,00席
スコアボード	磁器反転式スコアボード

<テニスコート（庭球場）>



施設名	施設概要
テニスコート	砂入り人工芝コート8面 (全天候型砂入り人工芝)
観客席	ベンチ32席、芝生250席
クラブハウス	男女更衣室、ロッカー トイレ

<ゲートボール場>



施設名	施設概要
ゲートボール場	天然芝 6面 (高麗芝)
スタンド	芝生スタンド
付帯設備	日除シェルター6ヶ所 (ベンチ付き)、トイレ

<多目的広場>



施設名	施設概要
多目的広場	約14,000㎡ 臨時駐車場：約600台

<体験広場・芝生広場・散策路・管理棟>

※現在、各施設は整備中

3. 公園管理の概要

平成14年度の一部供用開始後は、管理委託制度により一般財団法人千葉県まちづくり公社が公園管理を行ってきました。その後、平成18年に指定管理者制度に移行した後も、まちづくり公社が指定管理者として引き続き管理を行っています。

現在、指定管理者において、各種の自主事業（表4）が実施されており、公園利用者の増加と満足度向上に寄与しています。

表4 主な自主事業

事業名	開催場所	開催頻度
ジュニアソフトテニス教室	庭球場	年2回
グランドゴルフ親睦会	ゲートボール場	年1回
野球教室	野球場	年2回
野球場芝生体験会	野球場	年1回
中高ソフトテニス技術研修	庭球場	年2回
知的障害者サッカー教室	多目的広場他	年1回
刈草リサイクル	全域	通年
自動販売機	全域	通年
凧作り教室	各所	年1回
都市公園インスタンス	全域	年1回
中高ソフトテニス強化練習	庭球場	年3回
ポールウォーキング教室	全域	年7回
ノルディックウォーキング教室	全域	年7回

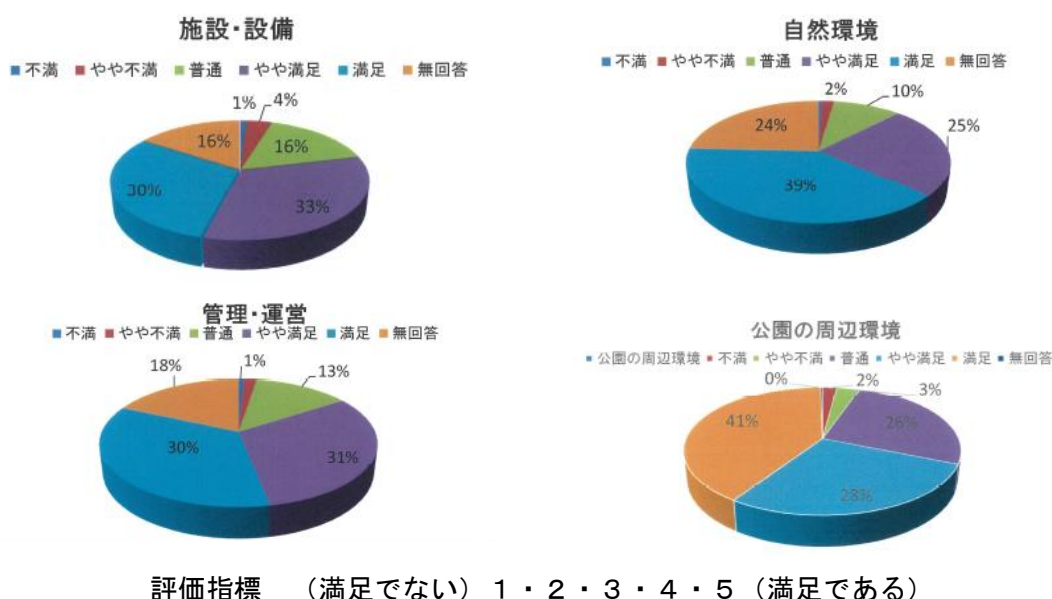


図4 公園利用者満足度調査（5段階評価）回答者数200人×2回（指定管理者提供）

4. 公園の利用状況

平成14年度の野球場供用開始により、長生の森公園は一部供用を開始しました。その後も、庭球場、ゲートボール場、駐車場、多目的広場について、整備完了時期に併せて随時共用開始をしてきたところです。

公園利用者数の増減は、高校野球公式戦の注目度により、観客数が増減することによるものですが、昨年度は、新型コロナウイルスの影響で施設を休止したため、大幅に減少しています。(図5)

公園利用者の特徴としては、以下のとおりとなります。(図6)

- ①野球場の利用者は全体の約半分で、各種大会やクラブ活動等、長生地域の野球拠点として活用されています。
- ②テニス及びゲートボール場の利用は継続して安定した利用が継続しております。特に、テニスコートは人気があり、中学生から大人まで、幅広い世代の方が利用しています。

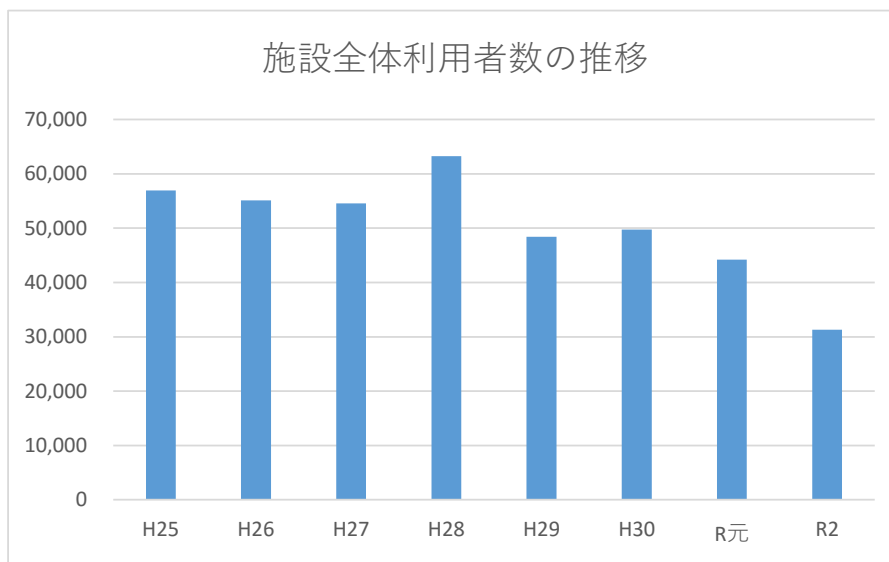


図5 年度別公園全体利用者数

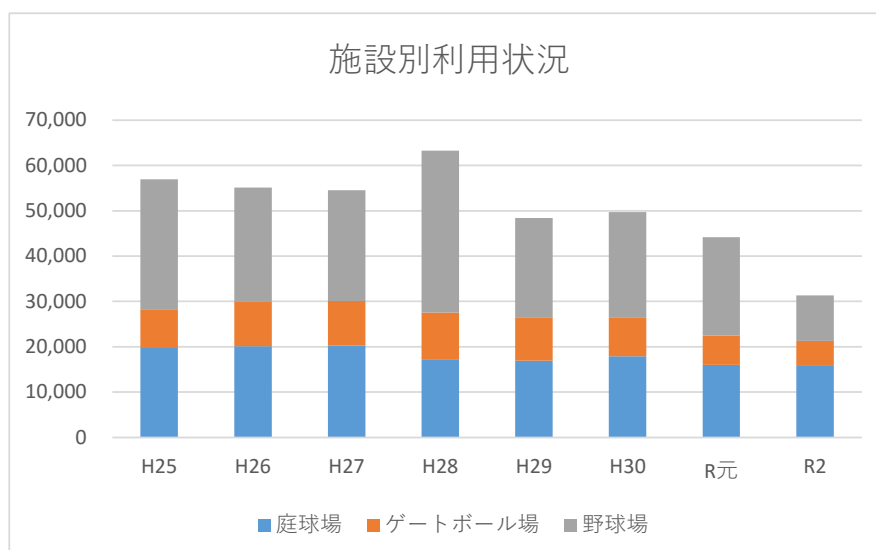


図6 年度別・施設別 公園利用者数(累計)

5. 長生の森公園の課題

①開園当時からの状況変化

本格的な高齢化社会の到来や都市構造の転換、自治体の厳しい財政状況等、社会経済情勢の変化が進むとともに、公園利用者のニーズも多様化しています。

公園の周辺では、平成 25 年 4 月には圏央道の木更津～東金区間が開通し、また、令和 2 年 2 月には茂原長柄スマート IC の運用が開始され、アクセス性の向上が図られており、長生地域以外の県内からの利用者数の増加が確認されております。

このような中、当公園の供用開始エリアにおいては、平成 18 年度から指定管理者制度を導入するとともに、平成 24 年度に公園施設長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理・更新に取り組んできました。

新規に公園を整備しているエリアにおいては、平成 29 年の都市公園法改正により民間活力導入に関する新たな制度が創設されたことから、更なる公園の魅力向上に向け、新制度（Park-PFI 制度）を活用した検討を行っているところです。

②主な課題

本公園の周辺は、千葉県特有の地形である谷津が多く存在する自然豊かな地域となっており、この環境を保全しつつ最大限活用することで魅力を高め、新たな公園の利用方法を検討し、利用者増加を図っていくことが必要です。

また、平成 14 年の開園以降、徐々に公園整備を進めているところですが、公園開設時点から長い時間が経過しており、県民ニーズも徐々に変化していることから、これらの変化をとらえ、県民ニーズに合う施設に整備していくことが求められております。

Park-PFI 制度を活用し、民間事業者のノウハウと公共施設の良さを最大限活用し、それらの相乗効果により、魅力的な提案がなされ、多くの方に利用されることを期待しています。



写真 2 自然豊かな周辺環境（谷津田）



写真 3 圏央道・茂原長柄スマート IC